

平成30年8月22日（水）
愛知県振興部航空対策課
利用促進グループ（担当 上原、大久保）
内線 2281、2283
ダイヤル 052-954-6133
愛知県産業労働部産業立地通商課
国際企画業務グループ（担当 浅井、長江）
内線 3404、3405
ダイヤル 052-954-6356

知事の東南アジア渡航中の行事結果について

8月21日、知事はタイにおいてタイ国際航空本社を訪問し、エアポートセールスを実施しました。同日夜には、愛知県とタイとの経済交流会を開催し、タイ政府、現地企業・団体及び愛知県からの進出企業など、166名が出席しました。

8月22日、知事はウッタマ工業大臣と面談し、2014年9月に愛知県とタイ工業省との間で締結した「経済交流に関する覚書」に基づき、セミナー、ビジネスマッチング等での両地域間の更なる連携の促進を要請しました。

1 タイ国際航空訪問（担当課：航空対策課）

(1) 日時

8月21日（月）15:40～16:30（日本時間 17:40～18:30）

(2) 場所

タイ国際航空本社（バンコク）

(3) 面談者

ウサニー・サンシンゲオ社長代理 等

(4) 愛知県側出席者

大村知事、名古屋商工会議所 山本会頭、（一社）中部経済連合会 栗原常務理事、中部国際空港(株) 友添社長、ジェトロ名古屋 梶田所長 等

(5) 内容

大村知事、地元経済団体及び中部国際空港会社から、今年7月に実現したタイ国際航空による中部－バンコク線のダブルデイリー化のお礼を申し上げるとともに、愛知県からタイへは多くの企業が進出しておりビジネス需要が見込まれること、日本からタイ、タイから日本の双方向で多くの観光客が往来していること、また、タイから中部地域を訪れる観光客増加の取組を進めていることを説明し、運航機材の大型化や増便など、同路線の更なる拡充を要請した。

これに対し、タイ国際航空のウサニー・サンシンゲオ社長代理からは、「日本市場、その中でも産業が発達している中部地域は重要な市場と考えている。中部－バンコク線については、先月からダブルデイリーの運航を開始したところであるが、需要や機材繰りの様子をみながら、今後、トリプルデイリー化を含め更なる増便を考えていきたい。また、現行より大きな機体（A380など）が使えないか検討していきたい。」と回答があった。

その後、日泰寺などタイ人ゆかりの場所や人気の観光地について意見交換を行い、タイ国際航空のウィワット・ピヤウィロ副社長から「タイから日本への観光客を増加させていきたいので、愛知の魅力をこちらでも大いに発信していきたい。」と発言があった。

ウサニー・サンシングオ社長代理との面談の様子



ウサニー・サンシングオ社長代理への記念品の贈呈



面談参加者全員による記念撮影



2 日本国・愛知県とタイ王国との経済交流会（担当課：産業立地通商課）

(1) 日時

8月21日（火）18:30～20:00（日本時間 20:30～22:00）

(2) 場所

ホテル「ホテルオークラプレステージバンコク」（バンコク）

(3) 出席者 166名

- ・タイ政府、地元経済界、地元企業
タイ工業省、タイ商工会議所、タイ産業連盟、タイ自動車部品工業会 等
- ・現地日本政府、関係機関、日系経済界、愛知県からの進出企業
佐渡島駐タイ日本国大使、ジェトロバンコク事務所長、
バンコク日本人商工会議所、トヨタ自動車、豊田通商、デンソー、岡谷鋼機
等
- ・愛知県訪問団
大村知事、名古屋商工会議所 山本会頭、中部経済連合会 栗原常務理事
中部国際空港(株) 友添社長、ジェトロ名古屋 梶田所長 等

(4) 内容

タイ政府、現地企業・団体、県内進出企業・愛知県訪問団が一堂に会し、両地域の友好関係を深め、経済交流の拡大につなげる機会とした。

知事は冒頭挨拶の中で、21日にはタイ国際航空に対して、中部―バンコク線の運航機材の大型化や増便など、同路線の更なる拡充を要請したことや、両地域の交流の拡大・深化のため、22日にはソムキット副首相、ウッタマ工業大臣、アークム運輸大臣と面談することを紹介した。

また、愛知県は、2014年4月にバンコク産業情報センターを開設、同年9月にはタイ工業省との間で「経済連携に関する覚書」を締結し、現地での愛知県企業の事業活動の支援のほか、両地域でのセミナーやビジネスマッチングを開催しており、現在では約450社の愛知県企業がタイへ進出するなど、同国と緊密な関係を築いていることに言及した。

さらには、バンコク都と締結した「相互協力に関する覚書(2012年7月)」に基づく高校生の相互訪問などの友好交流や日泰寺を通じた同国との歴史的なつながりに触れ、今後ともタイとの交流を一層進めていきたいと述べた。

一方で、タイ工業省のパヌワット・トリヤンクスリー工業振興局副局長による来賓挨拶では、愛知県企業によるタイでの事業活動を通じた同国の産業振興への貢献や、愛知県とタイ工業省との「経済連携に関する覚書」に基づくビジネスマッチング、セミナー等の経済交流に感謝するとのコメントが寄せられた。

会場内では、抹茶の御点前披露や観光、地場産品、なごやめしを紹介するコーナーを設けるなど、愛知県の魅力をPRした。

日本国・愛知県とタイ王国との経済交流会の風景



タイ企業等との交流の風景



抹茶の御点前披露の様子



3 ウッタマ・サーワナヨン工業大臣（タイ）との面談（担当課：産業立地通商課）

- (1) 日時
8月22日（水） 9:30～10:30（日本時間 11:30～12:30）
- (2) 場所
工業省（バンコク）
- (3) 面談者
ウッタマ・サーワナヨン工業大臣
- (4) 愛知県側出席者
大村知事、名古屋商工会議所 山本会頭、中部経済連合会 栗原常務理事
中部国際空港(株) 友添社長、ジェトロ名古屋 梶田所長

(5) 内容

大村知事からウッタマ工業大臣に対し、先月名古屋で開催されたタイ投資セミナーでの面会に続き、再び面談の機会を得られたことに感謝を述べるとともに、2014年9月に愛知県とタイ工業省との間で締結した「経済交流に関する覚書」に基づき、セミナー、ビジネスマッチング等での両地域間の更なる連携の促進を要請した。

また、同年に開設した愛知県企業のタイへの進出支援を行う「愛知県バンコク産業情報センター」に対して、法制度を含む様々な情報提供等についての支援を依頼した。

上述のタイ投資セミナーでは、多数の愛知県企業が参加し、大成功したことから、本県企業のタイへの投資に関しての高い関心が伺われ、今後もタイへは新規進出企業を含む愛知県企業の活発な事業活動が期待されるため、通関制度の簡素化、交通インフラの充実を始めとした投資環境の改善等、本県進出企業に対するタイ政府の更なる支援を求めた。

加えて2023年に愛知県が開催を目指す技能五輪国際大会の招致への協力についても要請を行うなど、今後の両地域の友好関係の更なる発展と深化に向けた支援を依頼した。

これに対して、同大臣からは、冒頭、先月愛知県で開催されたタイ投資セミナーでの知事等関係者のお力添えに感謝する旨の謝辞が示されるとともに、タイに対する日本企業の投資の三分の一が愛知県企業によるもので、タイ経済にとって愛知県企業の活動は大変重要であり、本県との覚書に基づくセミナーやビジネスマッチング等の連携に対して感謝の言葉が述べられた。

また、通関制度の簡素化、交通インフラの充実は、愛知県企業の円滑な事業実施のために大変肝要であり、関係機関と協議し、速やかに愛知県へフィードバックするとの回答があった。

さらには、同大臣からは、タイ工業省がバンコクを始め13か所に設置する産業技術支援拠点（ITC：インダストリー・トランスフォーメーションセンター）と、愛知県バンコク産業情報センター、ジェトロが連携した、タイ企業と愛知県企業との技術交流についての提案があり、これにより、産業教育や研究開発等が促進されることへの期待の弁が述べられた。

ウッタマ・サーワナヨン工業大臣との面談の風景等



愛知県知事とウッタマ工業大臣



愛知県側とタイ工業省大臣等

